

令和6年度

学校要覧



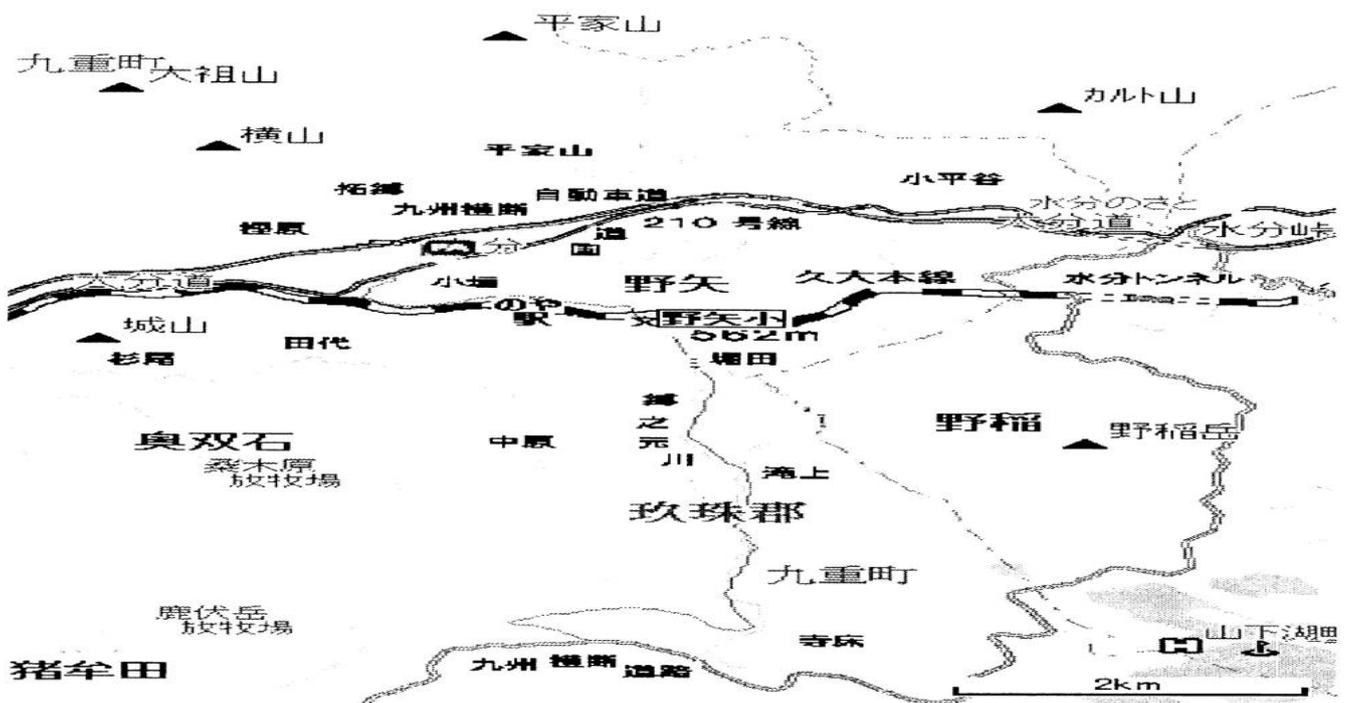
九重町立野矢小学校

1. 学校の現況

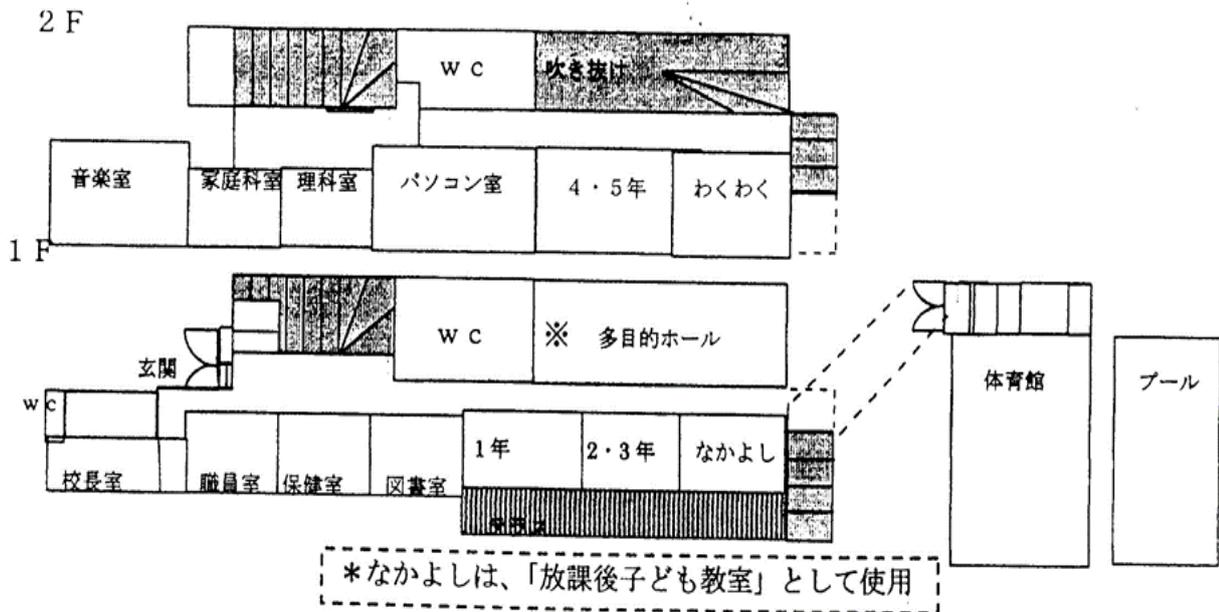
(1) 校区の概要

- ① 校区のある坂上地区は九重町の東北部に位置し、東は由布市に接している。学校はJR野矢駅から約1.5kmのところであり、南北に長い校区の中央部を東西に久大本線が走っている。また、その北部を湾曲しながら国道210号線も東西に走っている。東西約4.5km、南北約9.5kmの地域に11の集落(9行政区)が点在している。このうち野稻地区は、由布市に属するが、旧湯布院町との協議により野矢小校区として児童が通学していた。平成8年3月に、国道210号線に沿うように高速自動車道大分道が完成し、湯布院・玖珠間が開通した。平成15年4月に、新しい平家川橋が開通し、国道から小垣地区までが2車線となった。
- ② 世帯数約130戸、人口は約400人、本校児童数は平成28年度から令和4年度までは25名前後で推移していたが、令和5年度は新生児が0名になるなど徐々に減少傾向にある。
- ③ 全世帯数の30%強が専業農家で、残りが兼業農家等である。ほとんどの家で農業が営まれている。標高540m~650mの地域にあつて農業の経営は(米作+α)という形が基本となり、米・椎茸及びトマト・ブルーベリー・ネギ・花卉等の高原野菜が主な産物である。
- ④ 児童の家庭もほとんどが農業を営んでおり、兼業農家が大部分である。また、三世帯構成の家庭が多く、子どもたちにとって祖父母との関わりが多いことは、この校区の特徴的傾向の一つである。
- ⑤ 地域における主な団体組織としては、区長会・婦人会・老人会・PTA・青年団(夢追人)・PTA卒業者(思い出人)・野矢校区活性化協議会等があり、学校運営に対してはPTAとともに協力的である。

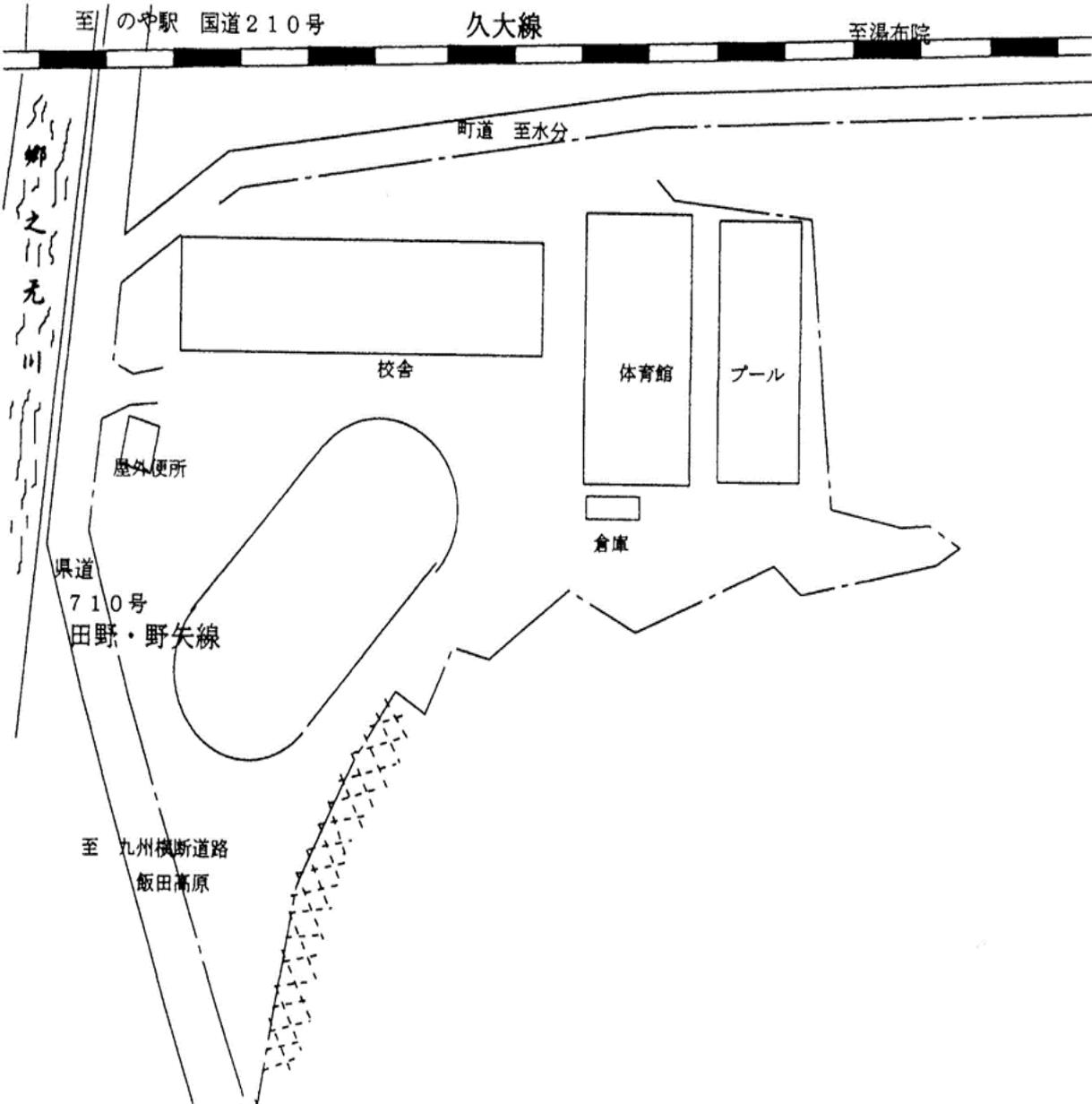
(2) 学校区の地図



(3) 校舎等配置図



校地及び周辺図



(4) 学年別児童数

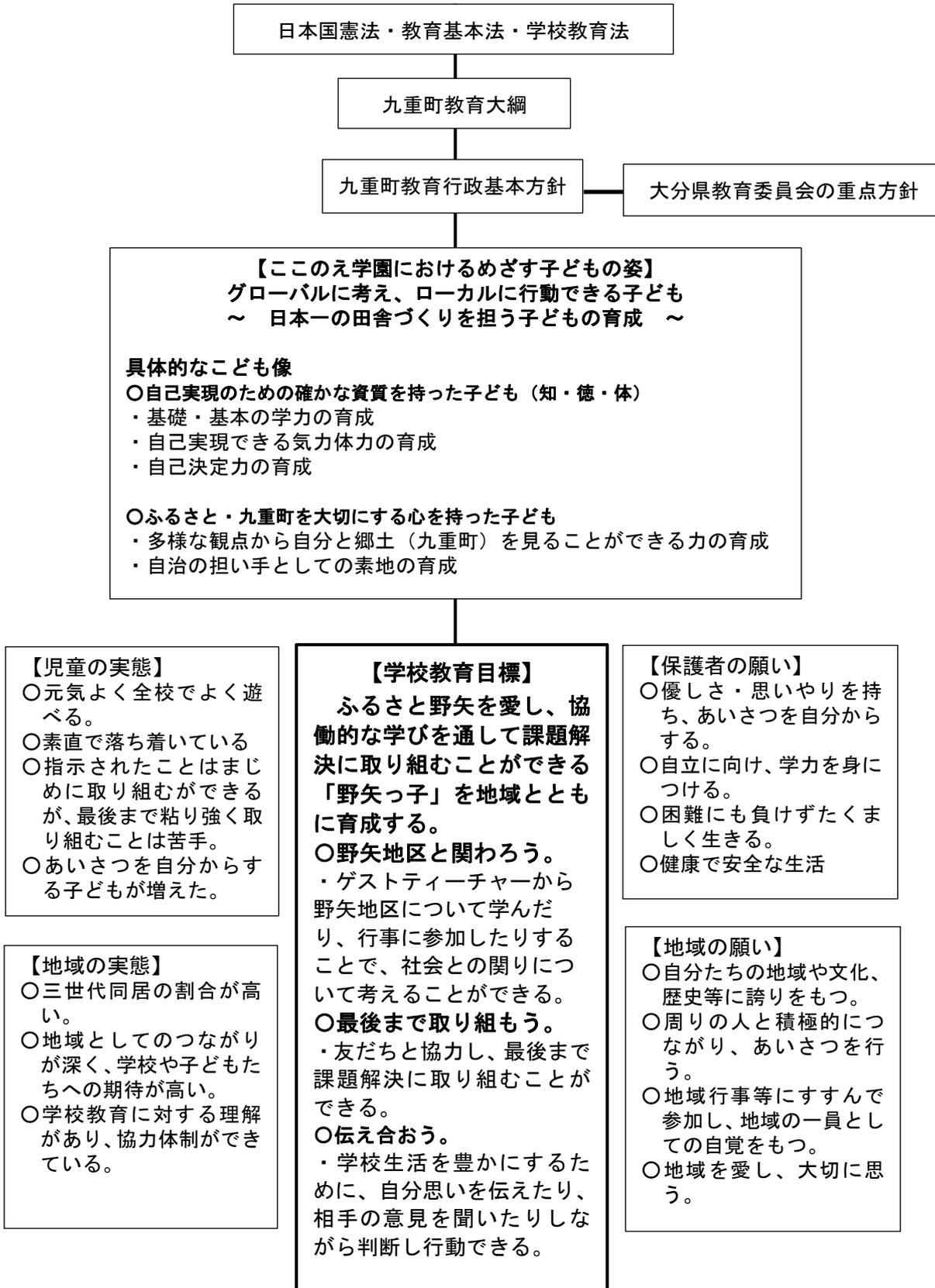
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
男	3	0	2	3	3	0	11
女	1	0	4	2	3	3	13
計	4	0	6	5	6	3	24

(5) 学級編成

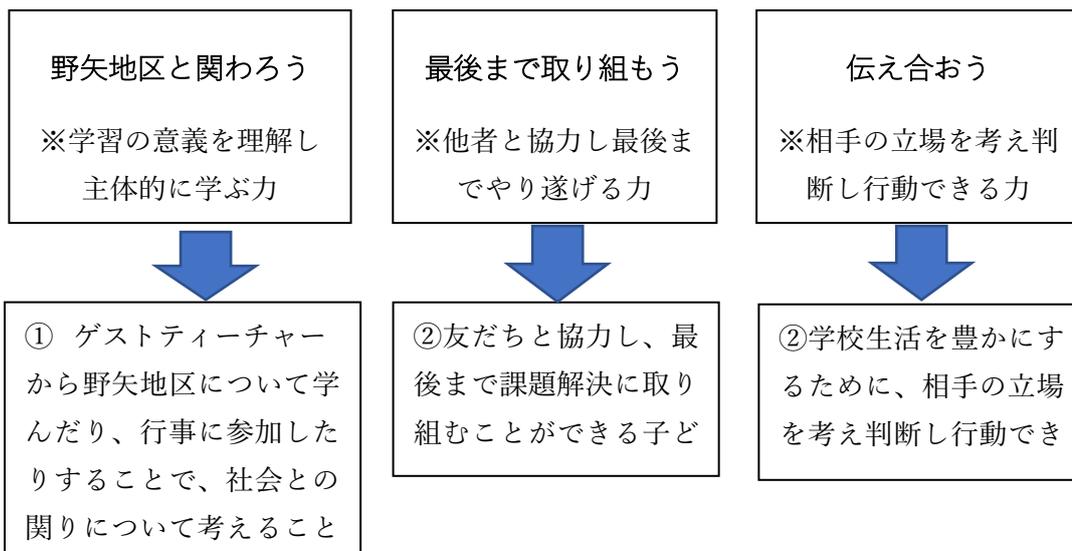
学 年	1年	3・4年	5・6年	計
学級数	1	1	1	3
児童数	4	11	9	24

2. 学校経営方針ならびに学校評価の4点セット

(1) 学校経営方針



(2) めざす子ども像



(3) 学校教育目標達成に向けての重点的取組

- 総合的な学習の時間の充実
 - ☆このえ学の推進と内容の充実、精選（学校）
 - ☆各種行事に対する目標設定、事後の振り返りの実施（学校）
- 保護者・公民館・各種団体を活用した地域との連携の推進
 - ☆学校行事への積極的な参加（保護者・地域）
 - ☆ゲストティーチャーとしての学習支援（地域）
 - ☆各種団体を活用した授業・体験活動・社会見学等の実施（地域）
- 学力向上プランに基づいた授業改善
（協調学習・課題解決学習等の学び合い、図書館を活用したの授業の推進）
 - ☆ドリルタイム、宿題を活用した基礎基本の定着（学校）
 - ☆協働的な学びを通して課題解決力を培う学習の推進（学校）
 - ☆宿題完了の確認（保護者）
 - ☆家庭での生活習慣の確立【メディアルールの設定】（保護者）
 - ☆委員会を活用した読書活動の推進（学校）
- 体力向上「1校1実践」の推進
 - ☆外遊びの推進（学校・保護者）
- 学級を中心とした集団づくり
 - ☆ソーシャルスキルトレーニングの推進（学校）
 - ☆「このえ学園人権教育共通教材」の活用（学校）
 - ☆部落差別解消推進指導員を活用した人権教育・部落問題学習の推進（学校）
- 親子のコミュニケーションの推進
 - ☆家庭における読書の推進（保護者）
 - ☆読み聞かせ活動の推進（地域）
 - ☆あいさつの推進（保護者・地域）

- 地域や家庭、関係団体との連携による人権教育・啓発の推進
 - ☆人権授業参観（保護者）
 - ☆まちづくり協議会等と連携した人権教育研修の実施（地域）
 - ☆隣保館見学を通しての部落問題学習の推進（地域）

(3) めざす教職員の姿

- 学校教育目標実現に向け、組織的に協力し合って、創造的、主体的な教育活動を進める教職員
- コンプライアンス意識を高く持ち、服務規律を厳守する教職員
- 自分を磨き、学び続けることで、児童一人ひとりに充実感を味わわせる授業づくり、児童生徒会活動の工夫をする教職員
- 児童への深い愛情と教育実践への熱い情熱を持って、児童、保護者、地域との信頼関係に努める教職員
- 問題行動、不登校の未然防止に取り組むことで、安心・安全な学校づくりをめざす教職員
- 危機管理意識を高く持ち、組織的な危機管理体制づくりの取り組む教職員
- 地域における学校の役割を自覚し、「社会に開かれた教育課程」を推進する教職員

(様式2)		令和6年度 学校評価の4点セット整理票				1学期版	
九重町		立	野矢小	学校	令和6年 4月15日		
【学校の教育目標】		ふるさと野矢を愛し、協働的な学びを通して課題解決に取り組むことができる「野矢っ子」を地域とともに育成する。					
【育成を目指す資質・能力】		・他者と協働する力、課題解決能力					
重点目標	達成指標	重点的取組		取組指標		担当	
習得した知識・技能をもとに相手の立場を考慮し、断し適切な行動ができる 【知識及び技能の習得】 生きて働く	○ 1学期末児童アンケート「授業がわかりやすかった」において平均3.5以上。	学校	○ ICTを活用した授業改善	○ 各学年において、1日1時間以上ICTを活用する。	情報教育担当・PTA研修部担当		
		家庭	○ 家庭での生活習慣の確立の推進【PTA研修部】	○ 毎日、家庭で宿題を行っているか確認する。			
		地域					
他者と協力し、最後まで課題解決に取り組むこと 【思考力、判断力、表現力の育成】 未知の状況にも対応できる	○ 1学期単元末テストの国語（思考力・判断力・表現力）において、目標値達成を77%以上（18人/24人）にする。	学校	○ 課題設定の工夫・ペア学習・グループ学習の推進	○ 研究主任の計画に沿って、授業における課題設定、ペア・グループ学習に関する研修を1学期に3回以上実施する（内1回は授業研）。	教務・研究担当		
		家庭		○ 授業者は設定した課題解決のために、グループ・ペア学習を取り入れた授業を週2回以上おこなう。			
		地域					
社会との関りについて考えることができる 【学びに向かう力、人間性等の涵養】 学びを人生や社会に生かそうとする	○ 児童アンケート「ゲストティーチャーとの授業や社会見学などに、自分からすすんで取り組むことができた。」において平均3.5以上にする。	学校	○ ゲストティーチャーや地域人材を活用した授業の推進	○ ゲストティーチャーや地域の施設等を活用した授業を1学期に7回以上実施する。	地域連携担当・PTA 育担当・PTA 保健部担当・図書館教		
		家庭	○ 家庭でのお手伝いの推進【PTA保健部】	○ 毎日、家庭で決められた役割を自ら取り組めたか確認する。			
		地域	○ 読み聞かせの充実	○ 1学期の計画の80%以上実施する。（低学年と高学年で、のべ25回計画中）			
時間外在校時間の縮減 【働き方改革の推進】	○ 4月～7月までの職員（対象7名）の時間外在校時間の月平均21時間以下。	学校等	○ 時間外在校時間の縮減	○ 月に1回、運営委員会で時間外在校時間を把握する。	管理職		
				○ 毎週金曜日を定時退庁日として取り組む。			
				○ 月に延べ7時間45分以上の年休を取得する。			

3. 学級経営方針

第 1 学年 学級経営案

担任 小幡 千聖

1. 学校教育目標

ふるさと野矢を愛し、協働的な学びを通して課題解決に取り組むことができる「野矢っ子」を地域とともに育成する。

2. 重点目標

野矢地区と関わろう

○学習の意義を理解し
主体的に学ぶ力

最後まで取り組もう

○他者と協力し
最後までやり遂げる力

伝え合おう

○相手の立場を考え
判断し行動できる力

3. めざす子ども像

ゲストティーチャーから野矢地区について学んだり、行事に参加したりすることで、社会との関わりについて考えることができる子ども

友だちと協力し、最後まで課題解決に取り組むことができる子ども

学校生活を豊かにするために、相手の立場を考え判断し行動できる子ども

4. 学級テーマ

きらきら

5. 具体的取り組み

○自分から知ろうとする子ども
・生活科で地域のことに興味を持ち、地域の行事に積極的に参加することができるようにする。

○友だちと協力して、最後まで取り組むことができる子ども。
・良い姿勢で学習に取り組ませる。
・学習の約束を守るように指導する。
・正しい言葉遣いができるようにする。
・自分の考えを伝え、友だちと協力して取り組むことができるようにする。

○伝え合える子ども
・自分の気持ちを伝えることができるように指導する。
・団のルールを守り、学校生活をより快適にしようとする態度を養う。
・場面にあったあいさつができるように指導する。
・自分からあいさつができるように指導する。

第 3・4 学年 学級経営案

担任 岩下 佳子

1. 学校教育目標

ふるさと野矢を愛し、協働的な学びを通して課題解決に
取り組むことができる「野矢っ子」を地域とともに育成する。

2. 重点目標

野矢地区と関わろう

○学習の意義を理解し
主体的に学ぶ力

最後まで取り組もう

○他者と協力し
最後までやり遂げる力

伝え合おう

○相手の立場を考え
判断し行動できる力

3. めざす子ども像

ゲストティーチャーから野矢地区
について学んだり、行事に参加した
りすることで、社会との関わりにつ
いて考えることができる子ども

友だちと協力し、最後まで課
題解決に取り組むことができ
る子ども

学校生活を豊かにするため
に、相手の立場を考え判断
し行動できる子ども

4. 学級テーマ

ホップ・ステップ

～自分も、みんなも、前にすすもう～

5. 具体的取り組み

○自分で考え、進んで学習
や活動に取り組む子ども

・ICT 機器の工夫をし、話の
聞き方、発表の仕方、ノー
トやメモの取り方など基本
的な学習方法を身につけさ
せる。

・e ライブラリーやドリル
を活用し、学習の基礎・基
本の定着を行い、「野矢地
区」のテーマの日記や作文
に取り組ませる。

○自分の目標をもち、最後ま
で取り組む子ども

・活動や行事などで、自分の目
標を決めて、取り組み方と振
り返りをスモールステップ化
視覚化する。

・振り返りには「はひふへほ」
の合言葉(はじめは、ひらめい
た、ふしぎ、へー、本当だ)を
提示し振り返りの質を高めさ
せる。

○自分の考えを人に伝える
ことができる子ども

・ペア学習、グループ学習、
ジグソー法などを取り入
れ、自分の考えをもち、伝
え合えるような授業づくり
を行う。

・1日1回、学級や友だち
のがんばりやよさを伝え合
う場を設ける。

第 5・6 学年 学級経営案

担任 池部 聖崇

1. 学校教育目標

ふるさと野矢を愛し、協働的な学びを通して課題解決に取り組むことができる「野矢っ子」を地域とともに育成する。

2. 重点目標

野矢地区と関わろう

- 学習の意義を理解し主体的に学ぶ力

最後まで取り組もう

- 他者と協力し最後までやり遂げる力

伝え合おう

- 相手の立場を考え判断し行動できる力

3. めざす子ども像

ゲストティーチャーから野矢地区について学んだり、行事に参加したりすることで、社会との関わりについて考えることができる子ども

友だちと協力し、最後まで課題解決に取り組むことができる子ども

学校生活を豊かにするために、相手の立場を考え判断し行動できる子ども

4. 学級テーマ

カラー ～All Color～

5. 具体的取り組み

○ふるさと野矢の**カラー (Color)**を守っていこうとする子ども

- ・児童会活動、学校行事等を通して、野矢小ならではの取り組みや地域との交流を設定し、自分の考えをまとめさせる。
- ・総合的な学習の時間を中心に、地域社会と自分とを結びつけて考えさせる場面を多く設定する。

○一人ひとりの学習状況の**カラー (Color)**に応じて、最後まで粘り強くチャレンジする子ども

- ・5・6年生は苦手意識をもつことが多い実態があるので授業を通して、自信をつけ最後まで粘り強くチャレンジすることが大切であるという指導を行う。
- ・そのために、他者と協力し合うための【学習の約束（話し方・聞き方・反応）】を徹底し、1時間に1回はペア・グループ活動を設定する。

○見えない部分（相手の立場）を知り、お互いの**カラー (Color)**を認め合い、諦めずに行動する子ども

- ・道徳や学級の時間の【人権学習】を中心に、相手が置かれている状況を知ることの大切さを理解させ（知的理解）、知ったうえでどう行動するかを考えさせる（人権感覚を養う）授業を多く設定する。
- ・またその行動に価値をつけ評価する指導を行う。

4. 学力向上プラン（校内研究計画）

九重町立野矢小学校 学力向上プラン1（4月）									
学校教育 目標	ふるさと野矢を愛し、協働的な学びを通して課題解決に取り組むことができる「野矢っ子」を地域とともに育成する。								
育成を目指す 資質・能力	他者と協力し最後まで課題解決に取り組む								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学力状況について</th> <th>学習状況について</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <p>全国正答率を上回った学年と教科(町学力調査結果より)</p> <p>国語・・・2・5・6年 算数・・・2・3・4・5・6年 理科・・・3・5・6年</p> <p>社会・・・5・6年</p> <p>課題</p> <p>1年・・・欠学年</p> <p>2年・・・全体としては特になし</p> <p>3年・・・国語(情報の扱い方・読む)、算数(図形)</p> <p>4年・・・国語(言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、言語文化・話す聞く、書く、読む)、算数(データの活用)、理科(物質・エネルギー、生命・地球)</p> <p>5年・・・国語(話す・聞く、読む)、社会(工業生産)、算数(図形)</p> <p>6年・・・理科(物質・エネルギー)</p> </td> <td> <p>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <p>大分県学力調査より</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的な学習ができていない(2/3) 学習が難しくなっていると感じている児童(2/3) 読書があまり好きではない(2/3) 国語の勉強があまり好きではない(2/3) ICTの活用が意欲に繋がっていない(2/3) <p>全国学力調査より</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館の利用率が低い(33.4%) 国語の勉強があまり好きではない(50%) </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年間、個人間の差が大きい。 国語の勉強に自分から進んで頑張っていると感じている児童の低下(3.42→3.13) 課題に最後まで頑張っていると感じている児童の低下(3.67→3.46) 進んで読書することができた児童数の低下(3.33→2.96) </td> </tr> <tr> <td>指導 の 状況</td> <td> <p>1 組織的な授業改善の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究主任が中心となり、授業研を計画し、事前研・事後研において「課題設定の仕方」・「グループ・ペア学習」をテーマにした研修を実施した。また、研究主任と教務主任が連携し、互見授業などを実施しながら、それぞれが授業改善に取り組んできた。 ICTを活用した授業に積極的に取り組んでいる。 「授業のやくそく」について月ごとに項目を絞り、授業者が授業の終了時に評価するように取り組んでいる。 <p>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 全校一斉ドリルタイムについては全教職員で取り組めた。また、ICTを活用した個人学習(eライブラリー)取り組んでいる。 保護者と連携し、親子音読の取組を研修部で行っている。 </td> </tr> </tbody> </table>	学力状況について	学習状況について	<p>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <p>全国正答率を上回った学年と教科(町学力調査結果より)</p> <p>国語・・・2・5・6年 算数・・・2・3・4・5・6年 理科・・・3・5・6年</p> <p>社会・・・5・6年</p> <p>課題</p> <p>1年・・・欠学年</p> <p>2年・・・全体としては特になし</p> <p>3年・・・国語(情報の扱い方・読む)、算数(図形)</p> <p>4年・・・国語(言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、言語文化・話す聞く、書く、読む)、算数(データの活用)、理科(物質・エネルギー、生命・地球)</p> <p>5年・・・国語(話す・聞く、読む)、社会(工業生産)、算数(図形)</p> <p>6年・・・理科(物質・エネルギー)</p>	<p>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <p>大分県学力調査より</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的な学習ができていない(2/3) 学習が難しくなっていると感じている児童(2/3) 読書があまり好きではない(2/3) 国語の勉強があまり好きではない(2/3) ICTの活用が意欲に繋がっていない(2/3) <p>全国学力調査より</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館の利用率が低い(33.4%) 国語の勉強があまり好きではない(50%) 	<p>これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年間、個人間の差が大きい。 国語の勉強に自分から進んで頑張っていると感じている児童の低下(3.42→3.13) 課題に最後まで頑張っていると感じている児童の低下(3.67→3.46) 進んで読書することができた児童数の低下(3.33→2.96) 		指導 の 状況	<p>1 組織的な授業改善の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究主任が中心となり、授業研を計画し、事前研・事後研において「課題設定の仕方」・「グループ・ペア学習」をテーマにした研修を実施した。また、研究主任と教務主任が連携し、互見授業などを実施しながら、それぞれが授業改善に取り組んできた。 ICTを活用した授業に積極的に取り組んでいる。 「授業のやくそく」について月ごとに項目を絞り、授業者が授業の終了時に評価するように取り組んでいる。 <p>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 全校一斉ドリルタイムについては全教職員で取り組めた。また、ICTを活用した個人学習(eライブラリー)取り組んでいる。 保護者と連携し、親子音読の取組を研修部で行っている。
学力状況について	学習状況について								
<p>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <p>全国正答率を上回った学年と教科(町学力調査結果より)</p> <p>国語・・・2・5・6年 算数・・・2・3・4・5・6年 理科・・・3・5・6年</p> <p>社会・・・5・6年</p> <p>課題</p> <p>1年・・・欠学年</p> <p>2年・・・全体としては特になし</p> <p>3年・・・国語(情報の扱い方・読む)、算数(図形)</p> <p>4年・・・国語(言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、言語文化・話す聞く、書く、読む)、算数(データの活用)、理科(物質・エネルギー、生命・地球)</p> <p>5年・・・国語(話す・聞く、読む)、社会(工業生産)、算数(図形)</p> <p>6年・・・理科(物質・エネルギー)</p>	<p>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <p>大分県学力調査より</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的な学習ができていない(2/3) 学習が難しくなっていると感じている児童(2/3) 読書があまり好きではない(2/3) 国語の勉強があまり好きではない(2/3) ICTの活用が意欲に繋がっていない(2/3) <p>全国学力調査より</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館の利用率が低い(33.4%) 国語の勉強があまり好きではない(50%) 								
<p>これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年間、個人間の差が大きい。 国語の勉強に自分から進んで頑張っていると感じている児童の低下(3.42→3.13) 課題に最後まで頑張っていると感じている児童の低下(3.67→3.46) 進んで読書することができた児童数の低下(3.33→2.96) 									
指導 の 状況	<p>1 組織的な授業改善の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究主任が中心となり、授業研を計画し、事前研・事後研において「課題設定の仕方」・「グループ・ペア学習」をテーマにした研修を実施した。また、研究主任と教務主任が連携し、互見授業などを実施しながら、それぞれが授業改善に取り組んできた。 ICTを活用した授業に積極的に取り組んでいる。 「授業のやくそく」について月ごとに項目を絞り、授業者が授業の終了時に評価するように取り組んでいる。 <p>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 全校一斉ドリルタイムについては全教職員で取り組めた。また、ICTを活用した個人学習(eライブラリー)取り組んでいる。 保護者と連携し、親子音読の取組を研修部で行っている。 								
<p>学力に関する達成指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語の単元テスト(思考力・判断力・表現力)において、目標値達成を77%以上(17人/22人)にする。 国語の勉強に自分から進んで頑張っていると感じている児童 平均3.5以上にする。 児童アンケート「学習に関して課題に最後まであきらめずに取り組んだ」において、平均3.5以上にする。 進んで読書することができた児童 平均3.5以上にする。 									
今後の 具体的 な取組	<p style="text-align: center;">【授業改善】</p> <p style="text-align: center;">〈授業改善のテーマ・重点〉</p> <p>(授業改善テーマ)主体的・対話的に学びあい、課題解決に向かう子どもの育成 (授業改善の重点)協働的な学びと個別の学びを組み合わせた授業の推進</p>	<p style="text-align: center;">【家庭・地域との協働】</p>							
	<p style="text-align: center;">〈取組内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業者は、生活に結びつくような課題を設定する。 授業者は、グループ学習において、自分の考えを書いてまとめさせた上で、友だちと交流させる。 ICT等を活用した個別の学びに取り組む。 	<p style="text-align: center;">〈家庭・地域の取組内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の充実 							
	<p style="text-align: center;">〈取組指標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究主任は年間2回以上、授業研を設定し、職員研修において、授業における課題設定とグループ学習をテーマにした研修を年間6回以上設定する。また、教務主任と連携し、評価シートを活用した互見授業を年間2回以上設定する。 授業者は、単元の導入やまとめにおいて、生活に結びつくような課題を設定し、協働的な学びを取り入れた授業を行う。 	<p style="text-align: center;">〈家庭・地域の取組指標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭は、PTA研修部の取組を受け、積極的な取組を行う。(年2回活動期間を設定し、自己評価を行う) 							
	<p style="text-align: center;">〈検証指標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 町学力調査 国語(思考力・判断力・表現力)において、目標値達成を77%以上(17人/22人)にする。 児童アンケート「課題に最後まであきらめず取り組んだ」において平均3.5以上にする。 児童アンケート「授業がわかる」「各教科(国語・算数・理科・社会・体育・音楽・図工・総合の授業が楽しい)」において平均3.5以上にする。 	<p style="text-align: center;">〈家庭・地域の検証指標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組に関する保護者アンケートを実施し、自己評価を平均3.5以上にする。 							
	<p>【授業改善以外の学力向上の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全校一斉のドリルタイム(月:昼=国語、火:昼=算数)に取り組む。活用は答え合わせの後、補足説明をする。国語は主に漢字に取り組む。 どの学年も漢字、計算、音読の家庭学習に取り組ませる。 学校司書と連携し、多読書表彰などを行うことで読書に親しみをを持たせる。 								

5. 授業時数・行事年間計画

4月			5月			6月			7月			8月			9月		
日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事
1	月		1	水		1	土		1	月	豊かな体験活動	1	木		1	日	
2	火		2	木	お迎え遠足	2	日		2	火	豊かな体験活動(予備日)	2	金		2	月	
3	水		3	金	憲法記念日	3	月		3	水	委員会活動	3	土		3	火	
4	木		4	土	みどりの日	4	火		4	木		4	日		4	水	委員会活動
5	金		5	日	こどもの日	5	水	委員会活動	5	金	1学期末PTA	5	月		5	木	5年生つながり学習
6	土		6	月	振替休日	6	木	6年生集合学習	6	土		6	火	平和授業	6	金	
7	日		7	火	結団式	7	金	6年生社会見学	7	日		7	水		7	土	
8	月		8	水		8	土		8	月		8	木		8	日	
9	火	新任式・始業式	9	木		9	日		9	火		9	金		9	月	
10	水		10	金		10	月	プール掃除	10	水		10	土		10	火	
11	木	入学式	11	土		11	火		11	木		11	日	山の日	11	水	
12	金		12	日		12	水	芋苗植え	12	金		12	月	振替休日	12	木	5年生集合学習
13	土		13	月		13	木	6年生集合学習	13	土	野上祇園	13	火	学校閉庁日	13	金	
14	日		14	火		14	金		14	日		14	水	学校閉庁日	14	土	野矢っこ探検隊
15	月	家庭訪問	15	水	委員会活動	15	土		15	月	海の日	15	木	学校閉庁日	15	日	
16	火	家庭訪問	16	木		16	日		16	火		16	金		16	月	敬老の日
17	水	委員会活動	17	金	小運動会・愛校作業	17	月		17	水		17	土		17	火	振替休業日
18	木	6年生学力調査・家庭訪問	18	土		18	火	5年生つながり学習	18	木		18	日		18	水	
19	金		19	日		19	水		19	金	1学期終業式	19	月		19	木	5年生社会見学
20	土		20	月		20	木	6年生集合学習	20	土		20	火		20	金	
21	日		21	火	郡教育研究会	21	金	4年生社会見学	21	日	親子海水浴	21	水		21	土	
22	月	交通安全教室	22	水		22	土		22	月		22	木		22	日	秋分の日
23	火	5年生学力調査	23	木		23	日		23	火		23	金	親子愛校作業	23	月	振替休日
24	水		24	金	運動会設営作業	24	月		24	水		24	土		24	火	
25	木		25	土	春季大運動会	25	火	5年生集合学習	25	木		25	日		25	水	
26	金	PTA総会	26	日	運動会予備日	26	水		26	金		26	月		26	木	
27	土		27	月	振替休業日	27	木	6年生集合学習	27	土		27	火		27	金	
28	日		28	火		28	金	郡授業研究会	28	日		28	水		28	土	
29	月	昭和の日	29	水		29	土		29	月		29	木		29	日	
30	火		30	木		30	日		30	火		30	金	2学期始業式	30	月	
			31	金					31	水		31	土				
月	2	授業日数	月	2	授業日数	月	4	授業日数	月	2	授業日数	月	0	授業日数	月	3	授業日数
火	4	15	火	4	21	火	4	20	火	3	14	火	0	1	火	3	19
水	3	最大時数	水	5	最大時数	水	4	最大時数	水	3	最大時数	水	0	最大時数	水	4	最大時数
木	3	90	木	5	124	木	4	120	木	3	84	木	0	6	木	4	114
金	3		金	4		金	4		金	3		金	1		金	4	
休			休	1		休			休			休			休	1	
実施	欠時	行事	実施	欠時	行事	実施	欠時	行事	実施	欠時	行事	実施	欠時	行事	実施	欠時	行事
1	3	新任式・始業式	1		結団式	6		豊かな体験活動	1		期末PTA			愛校作業	6		野矢っこ探検隊
3		入学式練習・準備			愛校作業	1		プール掃除	1		大掃除	1	3	始業式	6		5年社会見学
1	3	入学式	6		お迎え遠足	1		解団式	1	3	終業式						
1		4年知能検査			歯科検診	6		6年社会見学			野上祇園						
2		交通安全教室			町全員研修	4		4年社会見学			親子海水浴						
		内科検診	2		郡教育研究会		2	郡授業研究会									
1		PTA総会	4		小運動会												
			6		大運動会												
			1		避難訓練												

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事
1	火	郡授業研究会	1	金	郡教育文化祭作品展	1	日		1	土	
2	水		2	土	郡教育文化祭作品展	2	月		2	日	
3	木	5年生集合学習	3	日	文化の日	3	火		3	月	
4	金		4	月	振替休日	4	水	委員会活動	4	火	
5	土		5	火		5	木		5	水	委員会活動
6	日		6	水	委員会活動	6	金	マラソン大会・2学期末PTA	6	木	6年生集合学習
7	月		7	木		7	土		7	金	年度末PTA
8	火		8	金	郡教育文化祭音楽祭	8	日		8	土	
9	水	委員会活動	9	土	学校文化祭	9	月		9	日	
10	木	6年生集合学習	10	日		10	火	九重町標準学力調査	10	月	郡教育研究会
11	金		11	月	振替休業日	11	水	九重町標準学力調査	11	火	建国記念の日
12	土		12	火		12	木		12	水	委員会活動
13	日		13	水		13	金		13	木	
14	月	スポーツの日	14	木		14	土		14	金	
15	火		15	金		15	日		15	土	
16	水		16	土		16	月		16	日	
17	木	6年生修学旅行	17	日		17	火		17	月	
18	金	6年生修学旅行	18	月		18	水		18	火	入学説明会
19	土	ふるさとまつり	19	火		19	木		19	水	
20	日	ふるさとまつり	20	水		20	金		20	木	春分の日
21	月		21	木		21	土		21	金	
22	火		22	金		22	日		22	土	
23	水		23	土	勤労感謝の日	23	月		23	日	天皇誕生日
24	木	3年生社会見学	24	日		24	火	2学期終業式	24	月	振替休日
25	金	芋ほり	25	月		25	水		25	火	
26	土		26	火	5年生つながり学習	26	木		26	水	修了式
27	日		27	水		27	金		27	木	
28	月		28	木	4年生社会見学	28	土		28	金	離任式
29	火		29	金		29	日		29	土	
30	水	郡話し方大会	30	土		30	月	年末休業	30	日	
31	木					31	火	年末休業	31	金	スキー教室予備日
月	3	授業日数	月	2	授業日数	月	4	授業日数	月	2	授業日数
火	5	22	火	4	20	火	4	17	火	3	17
水	5	最大時数	水	4	最大時数	水	3	最大時数	水	4	最大時数
木	5	132	木	4	120	木	3	102	木	4	102
金	4		金	5		金	3		金	4	
休			休	1		休			休		
実施	欠時	行事	実施	欠時	行事	実施	欠時	行事	実施	欠時	行事
	2	郡教育研究会	4		教育文化祭音楽祭	2		マラソン大会	1	3	始業式
12		6年修学旅行	1		避難訓練	1		期末PTA	6		スキー教室
4		3年社会見学	6		学校文化祭			大掃除			卒業式
4		郡話し方大会	4		4年社会見学	1	3	終業式			修了式
											離任式
											最大授業時数
											1164
											年間授業日数
											201

6. 学校危機管理体制

1. 学校における危機管理

正常または通常の学校運営が大きく阻害される事態が生じた時、その事態に直ちに的確に対応できる体制を整えておく。

2. 学校運営上予想される危機

(1) 児童が学校生活上（登校から下校までの学校管理下にある）で、心身を損なう事件・事故（重度も含む）が発生する場合

- 校内への不審者侵入・傷害事件
- 登下校中の交通事故
- 登下校中の誘拐事件
- 中休み、昼休み中の学校施設・設備等による事故
- 体育の授業中や校外活動等における事故
- 学校行事（運動会、遠足、社会見学、修学旅行、マラソン大会等）での事故

(2) 下校後または休日・休業中に発生する事故

※連休前、長期休業前には全校または各学級で必要な指導を行う。（日常指導）

(3) 自然災害等の突発的なもの

大雨、火災、地震などの突発的な災害に伴い、児童を巻き込む可能性を含みながら被害にあった地区が郷之川に沿ってあり、本校の通学路の一部ともなっている。また、川に架かるJR久大線鉄橋下の県道部分が特に低くなっているため注意を要する。

(4) 感染症対応

(5) 弾道ミサイル落下時の対応

3. 危機管理マニュアル

- ・別途作成し、毎年見直して更新する。